

令和元年度 第2回いわき市社会福祉審議会児童福祉専門分科会
(子ども・子育て会議) 議事録

1 開催日時

令和元年7月16日(火) 午後2時00分から午後4時30分

2 開催場所

市役所本庁舎3階 第3会議室

3 出席者

(1) 児童福祉専門分科会委員(15名のうち11名出席) ※五十音順

猪狩利江委員、井田夏子委員、伊藤順朗委員、小玉則子委員、強口暢子委員(会長)、菅波香織委員、鈴木潤委員、新妻英昭委員、芳賀定道委員、平澤妙子委員、宮内隆光委員

(2) 事務局(13名)

こどもみらい部：高萩部長、中塚次長兼総合調整担当

こどもみらい課：小島課長、松崎統括主幹兼課長補佐、草野主幹兼課長補佐、草野企画係長、川嶋主査、渡邊事務主任、植木主事

こども支援課：鈴木参事兼課長、中村主幹兼課長補佐

こども家庭課：武山課長兼子育てサポートセンター所長、松川主幹兼課長補佐

4 協議事項

(1) 第二次いわき市子ども・子育て支援事業計画について

① 市子ども・子育て支援事業計画の総括・評価について(資料1)

② 第二次市子ども・子育て支援事業計画に掲げる施策体系の見直しについて(資料2)

③ 第二次市子ども・子育て支援事業計画「量の見込み」に係る考え方について(資料3)

5 報告事項

(1) 待機児童数(4月1日現在)について(資料4)

6 その他

7 会議の形式等について

- ・ 委員半数以上の出席があり、会議が成立していることを報告した。
- ・ 会議を公開することを確認した。
- ・ 議事録は、議事に直接関係する発言又は説明内容のみを記録し、委員名を記録しない「要点筆記方式」で作成することとした。
- ・ 議事録署名人は、鈴木潤委員と平澤妙子委員の2名を選出した。
- ・ 傍聴人なし

8 内 容

～協議事項～

(1) 第二次いわき市子ども・子育て支援事業計画について

① 市子ども・子育て支援事業計画の総括・評価について

発言者	発言内容
会長	協議事項の「(1) 第二次いわき市子ども・子育て支援事業計画について」のうち、「①市子ども・子育て支援事業計画の総括・評価」について、事務局からの説明を求める。
事務局	資料1に基づき説明（こどもみらい課長）
A委員	<p>1ページの「1(1) いわき市の人口と就学前（0－5歳児）の推移」について、人口の減少が自然減なのか、転出等による社会減なのか、解析した方が良いと思う。</p> <p>また、5年間の人口推移が記載されているが、10年前から把握できれば、震災前後の比較もできると思う。</p>
事務局	<p>人口の減少要因については、後日お示しさせていただく。</p> <p>人口は、平成22年度348,682人で、そこから右肩下がりの状況が続いている。なお、現行計画における平成31年度の人口推計は322,047人であり、ほぼ推計値どおりとなっている。</p>
B委員	<p>15ページの子育て支援員研修について、これまでいわき市で実施していたが、今年度から県が実施することになったことで、いわき市では実施していた現任研修等のコースがなくなり、また定員が少なくなったため、申込みをしても受講できなかつた人もいた。</p> <p>これから無償化に向けて、保育の人材が足りなくなるだろうという中で、どのような経緯でこのような状況になったのか。</p> <p>また、子育て支援員研修の充実について、県に要望していただきたい。</p>
事務局	<p>子育て支援員研修については、昨年度まで、県はいわき市を研修対象外としていたが、市から実施要望を重ね、今年度から対象となった。</p> <p>支援員研修の充実についての要望は、継続して行う考えであるが、今年度は、県の実施状況を踏まえ、研修のコースや定員の不足を補う形で今後市主催の研修を実施する予定。</p>
C委員	<p>今までの取組みは、少子化対策を目的として行ってきたと思うが、直近5年間の状況でみると、人口も減少しており、子育て世代の不安を払拭することはできなかつたのかなと思う。</p>

会長	<p>現計画の評価で、結果として子どもが増えたのかといえば、確かに増えてはいないが、保育の受け皿の確保等については、進んでいると思う。</p> <p>資料の9ページに「男女共同参画の推進」があるが、働き方改革や育児休暇の取得、女性の活躍推進等、これからは企業も含めて一体的に働く環境を整えないと、子どもを増やすというところまでいかないと思う。</p>
D委員	<p>10ページの「(6) 健康な子どもを育てるための支援」のこどもみらいBOOKについて、以前に比べてサイズも小さく、持ち運びしやすいと感じている。</p> <p>以前は、放課後児童クラブにも配布していたと思うが、去年は配布されなかった。今はどのような時に配布しているのか。</p>
事務局	<p>母子健康手帳の交付時や、健診の際に配布している。</p> <p>現在、本年度版を作成しているところであり、今年度からは放課後児童クラブにも配布することとしたい。</p>
会長	<p>次回の分科会の際に、本年度版のこどもみらいBOOKを、委員の皆さんにも配っていただきたい。</p>
B委員	<p>7ページの「3 現計画の総括」において、「すべてのこどもが」という文言が現計画の基本理念に入っているが、子ども・子育て支援新制度においては、0～2歳児の在宅の子にはあまり触れられておらず、支援が行き届かない。</p> <p>ネウボラ等でも支援していただいているが、昨年、3歳から入園希望の方をお断りしたことがあった。</p> <p>小規模保育事業等の場合、卒園後の受け皿となる連携施設として、幼稚園や保育所等が設定されているのに対し、在宅から入園する場合は、情報もあまりなく、入園できない人がいるので、そのような人の支援が必要であると思う。</p> <p>また、15ページの「4 全体評価」の「③保育の受け皿の確保」について、施設整備だけではなく、人材の確保についても考えていただきたい。</p>
事務局	<p>施策体系や個別具体的な考え方を検討していく中で、意見を反映させていきたい。</p>
会長	<p>今回出していただいたご意見を反映させて、現計画の総括評価をするということによいか。</p>

委員	～異議なし～ ⇒「協議事項（１）①」終了
----	-------------------------

②第二次市子ども・子育て支援事業計画に掲げる施策体系の見直しについて

発言者	発言内容
会長	協議事項の「(1)②第二次市子ども・子育て支援事業計画に掲げる施策体系の見直し」について、事務局からの説明を求める。
事務局	資料2に基づき説明（こどもみらい課長）
A委員	この施策体系は、一般的な子ども・家庭と、何らかの支援が必要な子ども・家庭ということで、対象によってグループ分けしているということではよいか。
事務局	お見込みのとおり。
会長	今回の施策体系は、国県の動きを踏まえた事務局の案であり、今後、各々の柱の中で、課題や施策を整理していくということではよいか。
事務局	お見込みのとおり。 支援を必要とする子どもとその家族についてⅢを新たに設け、Ⅰ～Ⅱ及びⅣについては、今までよりもっと充実させていくという整理になっている。
E委員	例えば、児童虐待を新たにⅢ－1の柱として設けたとのことだったが、そこまでいかない体罰を伴うしつけのようなものはどこに入るのか。
事務局	基本的にはⅢ－1。Ⅱ－1やⅡ－2にも位置づけることは可能と考える。 必要な施策は必ずどこかの柱には位置づける考えである。
E委員	支援の必要性の有無で対象を分けるメリット・デメリットは何か。 また、複数の柱に施策がぶら下がると分かりにくいのではないか。
A委員	どこにでも関係するというのは、分類になっていないのではないか。
E委員	人権の尊重が削られたのは非常に残念。 県内では郡山市の子ども条例のように、子どもの権利を定めた条例を制定する自治体も増えている。 いじめ防止の関係で小学校等に出前講座に行っているが、大人も人権意識が低いと感じている。市として意識を醸成してほしいが、子どもの

	<p>権利条例の制定予定はあるか。また、施策体系に盛り込むことはできないか。</p>
事務局	<p>現在、市として、子どもの権利条例の制定予定はない。</p> <p>しかし、施策体系として「人権の尊重」を位置づけることについては、改めて検討させていただきたい。</p>
C委員	<p>私としては、今後の進め方の定義をある程度示された資料であると感じた。</p>
B委員	<p>現計画の「Ⅱ－5 生きる力を育む教育の推進」とあるが、「生きる力」は、どこかに残せると良いと思う。</p> <p>また、次期計画の「Ⅳ－1 共創による子育て支援」とあるが、「共創」という言葉は分かりにくいのではないか。</p>
事務局	<p>「生きる力」の文言については、教育委員会とも相談して、検討する。</p> <p>「共創」については、共にまちづくりをしていこうという思いで、市として使用している言葉であるため、理解を得ながら入れていくこととさせていただきたい。</p>
D委員	<p>学校のプールについて、プールは水道代と薬代がかかる等の理由で、夏休み前に集中してプールの授業を行い、夏休み後は行わないようにしている所があると聞いている。</p> <p>今年は気温が低い中で授業が行われることもあり、子どもたちが風邪などひかないか心配。</p> <p>このような状況が、いわき市の教育としてよいのかと思っている。</p>
事務局	<p>教育委員会に当会議から出た意見として伝えていきたい。</p>
会長	<p>今回の計画は、18歳までの子どもを対象としているので、お互いに情報交換できるよう、教育委員会の方にも当会議に参加してもらうよう調整していただきたい。</p>
E委員	<p>次期計画の「Ⅱ－4 質の高い教育・保育の提供」とあるが、質の高い保育とはどのようなイメージか。</p>
事務局	<p>現状として保育人材の確保が難しい中、想定以上に0～2歳児の保育の需要があるため、まずは量の確保をするということ。</p> <p>また、現計画の「Ⅱ－5 生きる力を育む教育の推進」の中に、教育</p>

	<p>を充実していくという施策があるので、教育・保育環境を整えて対応していくという意味で言葉を整理している。</p>
E委員	<p>「生きる力」の方がメッセージ性があって良いと思う。</p>
F委員	<p>計画は18歳以下の子が対象になると思うが、貧困の世帯が多く、生活のために退学する子が多い高校もある。</p> <p>将来に向かって貧困の問題を解決するということはあるが、今、大きくなっている子に対して、どのように対応するのか。</p>
会長	<p>社会福祉協議会で行っている子育てフードバンクから見えてくる貧困の問題もある。やはり、教育委員会に参画していただく必要がある。</p>
事務局	<p>項目については、意見をもとに整理していきたい。</p> <p>何か意見があれば、今月中に、事務局宛、電話やメール、ファックスでご意見をいただきたい。</p> <p>⇒「協議事項（1）②」終了</p>

③第二次市子ども・子育て支援事業計画「量の見込み」に係る考え方について

発言者	発言内容
会長	協議事項の「(1)③第二次子ども・子育て支援事業計画「量の見込み」に係る考え方」について、事務局からの説明を求める。
事務局	資料3に基づき説明（こどもみらい課長）
C委員	<p>過去5年間の量の見込みによる施策は良かったと思う。</p> <p>ただ、これからの5年間はもう一歩先に進んでほしいという思いがある。</p> <p>その上で、第何子なのかという視点も大切だと思う。第4子の0歳児を兄弟と同じ園に預けることができない家庭があるため、兄弟が同じ園に入れるような施策があると良いと思う。</p>
事務局	<p>需要と供給のバランスを考えると、そのようなニーズに応えるためには供給に余裕が必要になると考えられるので、今後、確保方策をお示ししていく中で、ご相談していきたい。</p>
会長	<p>量の見込みについては、基本的にはこの考え方で進めてもらうこととなる。</p> <p>⇒「協議事項（3）」終了</p>

～報告事項～

(1) 待機児童数（4月1日現在）について」

発言者	発言内容
会長	報告事項の(1)待機児童数（4月1日現在）について、事務局からの説明を求める。
事務局	資料4に基づき説明（こども支援課長）
B委員	当園では、2歳児の待機が5名いる。 0～2歳児の需要に応えられるように、保育・教育の人材確保等の施策があると良いと思う。
A委員	対象となる出生数や、人口の推移等、他市と本市とでは状況が違うと思うが、他市の状況はどうなっているのか。
会長	次回、他市の数値的なことが分かれば、資料としてお示しいただきたい。
C委員	<p>県の会議では、都市部だと1～2人、山間部だと3人以上子どもを設けることが多いと聞いている。いわき市の人口を増やすと考えたときに、第1子、第2子を促進するより、第3子、第4子を促進するのがあるのではないかということ saying it.</p> <p>⇒「報告事項（1）」終了</p>